
?**変えられる運命** ~ Changed fate ~

咲亜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

？変えられる運命〜Changed fate〜

【Nコード】

N0991BA

【作者名】

咲亜

【あらすじ】

親に虐待され、兄に裏切られ、捨てられ、学校でも生徒、教師に裏切られ、いじめられ、独りぼっちの主人公。その運命は唐突に終わってしまった。そして始まる運命。運命とは変わるもの、変えることのできるものである。

1 F a t e 終わった運命(前書き)

なんか異世界で暴れる男の娘とは違う異世界の物語を書きたかった
ので書いてみました。

1 Fate 終わった運命

おれは目が覚めると上下左右前後全てが真っ白なところにいた。

「気が付きましたか」

後ろからいきなり声が聞こえてきた。聞こえてきた声は幼い女の子の声。おれは声がした方に振り向くとそこには声に見合った小さな女の子がいた。

「あの〜聞こえてますか〜?」

少女は少し困った表情で聞いてくる。少女の声はちゃんと聞こえているのでおれは少女に答える。ついでに此処がどこなのか、なぜ此処にいるのかも聞いてみる。

「ああ、聞こえてる。それと此処はどこでなぜ此処にいるんだ?」

「ええとですね、此処は神の自部屋みたいなものです。そしてわたしは神だから此処にいます。貴方はわたしの生徒の子が間違っただけで殺してしまっただけでその謝罪とこれからについて話すことがあるので呼びました。」

神??神の生徒が間違っただけでおれを殺した??

「はい、全て本当のことです」

そうか、おれは死んだのか

おれはいつも独りだった。だからおれが死んだってなにも変わらな
いだろう。親なんて小さいころ虐待され捨てられた。学校では教師
や生徒にいつもいじめられてた気がする。友達なんていたことなん
て一度もない。

そう、おれは誰からも必要とされていない。そして死んだ、間違っ
て殺された？別にいいさ。それなら天国やら地獄やらいつてゆっく
りしよう。

「貴方を間違っつて殺してしまいました。すみませんでした」
すると少女は土下座をし誤ってきた。

「あんた、自称神なんだろう、ならさつさと地獄でも天国でも連れて
つてくれ。おれは地獄と天国めぐりしてゆっくり過ごしたいからよ」
おれが少女にそう言うつと少女は驚いた表情をした。

「いえ、貴方は天国も地獄もいきません。」

「え、ならどこに??」

「貴方は間違っつて殺されたというのは言いましたよね。なのであな
たには違つ世界に転生してもらいます。」

転生だと？おれは地獄や天国に行きたいんだが・・・

そういえばおれ誰かと話すの一ヶ月ぶりくらいか？

「おれさ、天国か地獄に行きたいんだが」

「それは無理なんです。それに個人的には転生して幸せな人生を送って欲しいんです」

幸せな人生ねえ・・・

「だが断る！！おれは天国か地獄にいきたいの！！」

「いえ、だからそれh「はあ・・・もういいや。勝手に天国か地獄にいくわ」ええっ!？」

おれは適当に白い空間を歩きさまよう。少女はいろいろ言っていたがすべて無視し追い払った。

しばらくさまよっていると白い空間の中に黒い扉があった。なんて言うんだ？違う空間の雰囲気？がしたからさ「ああ、これが天国か地獄の扉か」とか思ったから扉開けて入ったんだよ。

入った瞬間、おれは意識が遠くなっていくのが分かった。おれはなんか落ちて行っているような気がする。多分地獄だな・・・

目が覚めると今度はさつきとは真逆の黒い空間にいた。今度は自分の姿も見えず何も見えない。だがなぜか温もりを感じる。温もり？なんだそれは、おれはそんなもの知らないしわからない。

ここは・・・天国？いや、恐らく地獄だろう。真っ暗で何も見えな
いところが天国ではないことくらい誰にだってわかるだろう。地獄
か・・・なにもないんだな・・・。おれは天国や地獄に行けば何か
しらあると思っていた。例えば天国なら他人の人生見て過ごしたり、
好きな物を食べたり、何もしなかったり、地獄なら血の池地獄とか
火だるま地獄とか針地獄とか・・・。

他人の人生とか見ても面白くなさそうだが・・・まあおれの人生よ
りは楽しいだろうが、とにかく何かしらのことがあると思っていた。
だが、現実はおれの思いを裏切った。

まあ生きているときも裏切られてたからとくに何も思ったりはしな
いんだが、だつてそうだろう？親なら兄がこつそり親の財布から金を
すくめていた時なんか親が財布の金が減っていると気づいたときは
すぐにおれのせいにされ、兄もおれのせいといい虐待される。殴つ
たり蹴つたり飯抜きやら水の中に沈められることもあったぞ。まあ
おれはその時3才くらいでそのあと捨てられたけどな。

学校でもだいたい似たようなもんだ。誰かが何かをしたらした本人
がおれがしたと言つたり、教師が勝手に決めつけたり、そしてその
後おれが壊れたものならそれを直し、盗んだものなら返せるはずも
なくただ無言ですつといたり、ああ、無言でいたら教師から殴られ
ることもあったな。ほかに朝学校に行くとき椅子に画鋏なんて毎日
だ、ほかに机の上に生ゴミが置かれていたり、マヨネーズで落書
きされてたり、酷いときなんか机に釘が何百と打たれていて、その
釘は机の上に置かれていた藁人形を串刺しにしていたり、いろいろ
あったなあ・・・おれがトイレとかすこし教室から離れると持つてき
ていた荷物が全てなくなるのは確実だった。その後の行方はしらん
が、あとトイレに行ったときは上から水が降ってきたり、生ゴミが

降ってきたり、小の時は出してる時にいきなり後ろに倒されたり・

まあ、昔を振り返るのはやめておこう

しかし、本当にすることないなあ・・・

せめて何か一つでもあれば違うんだがな・・・

そういえば知ってるか？好きの反対は嫌いじゃないらしいぜ。詳しくはしらんが好きの反対は無関心らしい。おれが思うには好きっていうのは相手の事が気になっている、ということなんだと思うんだよ。嫌いは好きとは違う意味で相手のことが気になっている。だから嫌いでも好きになる可能性はあるんだと思うんだ。だが無関心は相手に興味がない、気にしないなど良い意味でも悪い意味でも相手の事に反応しない。反応しないならどうにもならないとおれは思う。

まあ、適当に考えたから違っててもどうでもいいんだが、だってだれも聞いてないしな。

しかし、本当に真っ暗だよな・・・

自分の身体すら見えないんだぜ？しかも手を動かそうとしても手の感覚がないし、動かないし・・・。自分の身体が動くか確かめて動かなかったとき？感覚がなかった時に「えっ?!」って言ったはずなんだがその声すら聞こえなかった。いや、もしかしたらおれは魂だけなのかもしれない。

それならば納得できる。

なにもないって言うのは慣れてはいるがつまらないな・・・

そんな事考えてると眠くなってきた・・・ふああ〜っあ・・・

今日一日？いろんな事があったな・・・

おれが死んで、神が現れて、転生しろといわれ、逃げて、黒い扉があつて開けたら意識がなくなって、気が付いたら今いる真つ黒で動けないしやべれない。

ふあ〜っあ・・・眠い・・・ねよ・・・

1 Fate 終わった運命（後書き）

ぐだぐだになったような・・・気がしますが

今回は主人公死亡 転生することになり逃亡 暗い空間
と主人公がかわいそうな前世だったことを知ってもらえれば・・・
それでいいかも

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0991ba/>

?変えられる運命 ~ Changed fate ~

2012年1月2日06時45分発行